

平成15年度 文学部 授業計画表[syllabus]

科目名 児童文化概論 (英文名) Introduction to Children's Culture	2単位 (秋 期)	(ふりがな) こみやま きよこ 担当者 小宮山 潔子 e-mail kkomiya@kokushikan.ac.jp
授業のねらいと概要: 児童文化全般について、子供の健やかな発達という視点と結びつけて理解する。同時に、さまざまな分野で、ある程度実践できる技術を養うこと。		
教科書:		
参考図書:		
評価法: レポート(50%)、毎回の制作、実習の態度、作品、実演態度(50%)		
具体的評価方法等:		

【授業計画】

回 数	講 義 テ ー マ と 概 要
第1回	児童文化について、その対象、歴史と現状、活用法など全般的な理解。特に、急変しているといわれる子供社会と、現代に特徴的な児童文化財への認識。
第2回	子供への読み聞かせ、話し方について。紙芝居の演じ方、話し掛け方、及び子供たちへの話し方について実演。
第3回	竹とんぼ作り 実習 実際に竹をナイフで削って各自竹とんぼを作る。完成させ、実際にとばす。とばない場合、理由を理解する事。
第4回	折り紙大会(作品提出) 各自折り紙の基本をマスターする。折り方見本を見て、初見で完成できるまでになること。
第5回	ジャンボすごろくのまどつくり。各自1つ以上、独創性の感じられるまどを制作。のち、チームに分かれて実演する。
第6回	あやとり、体験活動。指ぬきは自在になること。とり方を図と文で説明したものを提出する。
第7回	お手玉制作 実際に布、糸、針を用いてお手玉を作る。2つの玉の遊びは全員ができるようになること。
第8回	けんだま及びヨーヨー練習。伝承玩具の基本的な扱いをマスターすること。
第9回	こままわし大会。ひもでこまをまわす練習。木の実のこまや中国製のこまにも挑戦。
第10回	さまざまな絵本について。大型絵本、ミニ絵本、布絵本、しかけ絵本などに親しみ、読み方の実演。
第11回	かるた制作 各人の担当者を決め、絵札、文字札をそれぞれ自分たちのかるたを作る。工夫のある独自性を期待。
第12回	かるた大会 お正月遊びを体験する日とする。自分たちで制作したかるた、及び双六、福笑いなどの伝承遊びを体験。